

9/27 12月、大相撲沖縄場所冬巡業開催
幕内力士勢関、千田川親方



12月17日、18日に沖縄コンベンションセンターで開催される大相撲沖縄場所冬巡業のPRのため、父親が沖縄出身である千田川親方と幕内力士勢関らが市役所を訪れました。勢関がアカペラで相撲甚句を披露し、市民や市職員から拍手と歓声が上がりました。

9/27 FMラジオ局 ぎのわんシティFM
災害時の防災情報に関する協定式



コミュニティFM局「ぎのわんシティFM」を運営するデルタ電気工業株式会社(新垣秀信代表取締役)と市は、災害時に備え防災協定を締結しました。災害時に避難情報や被害情報などの放送を想定しています。新垣代表取締役は「市民の安全・安心に協力していきたい」と語りました。周波数は81.8MHzです。

9/20 その酒で 失う信頼 家庭の未来
秋の全国交通安全運動出発式



秋の全国交通安全運動宜野湾地区出発式が市中央公民館で開催されました。わらびの森幼児学園の児童によるおゆうぎや、交通安全宣言が行われました。また、市23、中城村20の自治会が宜野湾署と「飲酒運転根絶に向けた協働行動に関する覚書」が締結されました。

9/12 基地問題について情報交換
岩国市関係者来訪



山口県岩国市より岩国の明るい未来を創る会「弥生会」の皆さまが、両市が抱えている基地についての課題等の情報交換を目的として、佐喜眞市長を表敬訪問しました。市役所の屋上から普天間飛行場の視察をしたあと、市職員から現状の説明を受けました。今後も、両市の交流を深めていくことを話しました。

9/29 大謝名小学校区
地域安全モデル地区指定



宜野湾市地域安全モデル地区指定書交付式が行われました。大謝名小学校区区域である5自治会(宇地泊、大謝名、大謝名団地、上大謝名、嘉数ハイツ)が指定され、大謝名小学校区を明るく、犯罪のない住みよい地域を目指します。交付式では蛍光ベストや帽子、腕章などのグッズが贈呈されました。

9/28 サンフティーマから子どもたちへ
地域の子どもたちへ遊具を寄贈



サンフティーマの運営・管理を行っている(株)ティ・エム・オ普天間(與那嶺務代表取締役)が、普天間幼稚園と普天間第二幼稚園へ絵本、サッカーボール、木製の積み木などの寄贈を行いました。地域への日頃の感謝と子どもたちの健やかな成長を願い、毎年取り組みを継続しています。

9/26 タンザニアへ出発報告 笠井歩さん
JICAボランティアとして海外へ!



JICA(国際協力機構)ボランティアとして、タンザニアへ派遣される笠井歩さんが佐喜眞市長を訪ねました。笠井さんは10月から2年間、キリマンジャロにある総合病院で理学療法士として働く予定となっています。「現地の方々と交流を通して、自分にできることを精一杯頑張りたい」と抱負を語りました。

9/24・25 トロピカルビーチで音楽を楽しむ
トロパ2016



9月24日(土)・25日(日)の2日間、トロピカルビーチで、宜野湾トロピカルビーチ賑わい創出事業「トロピカルビーチミュージックパーティー」が開催されました。様々なミュージシャンによる「SUMMER LIVE」や、マリンスポーツ体験、宜野湾バルなど多くの催しに大盛況のイベントとなりました。

9/7 世界にはばたけ
海外留学帰国報告会・解団式



中学校短期海外留学派遣事業で留学されていた生徒の皆さんによる帰国報告会が、市教育委員会で開催されました。市内中学生9名が約1カ月に及ぶアメリカ、シアトルでのホームステイ体験を報告しました。報告会では、ホームステイ先の家族との思い出や現地での体験などを、留学で上達した英語を交え語りました。

9/30 プロバスケットボールBリーグ開幕
琉球ゴールデンキングス



プロバスケットボールBリーグ1部の琉球ゴールデンキングスの伊佐勉ヘッドコーチ、金城茂之選手らが市役所を訪ね、NBLとbjリーグが統合した「Bリーグ」が開幕したことを報告しました。金城選手は「勤労者体育センター等を利用してもらい感謝している。新リーグでも県民の皆さんに良い報告ができるよう頑張りたい」と語りました。

9/28 子どもたちがメダリストと対戦
宜野湾市卓球講習会



リオデジャネイロ五輪で銀メダルを獲得した卓球男子チームによる卓球講習会(日本卓球協会主催)が市立体育館で開催され、県内の卓球チームの子どもたち約600人が参加しました。シングルス銅メダルを獲得した水谷隼選手たちとラリーの練習をし、子どもたちは熱気に包まれました。

9/26 日本初の団体銀メダル
オリンピックメダリスト卓球男子



リオデジャネイロ五輪の卓球男子で、日本初の団体銀メダルを獲得した水谷隼選手と吉村真晴選手が市役所を訪ね、オリンピックの報告を行いました。これまでに市の施設で宿舎を行っており、市へお礼のお言葉もありました。水谷選手は「卓球ブームに火がついてうれしい」。吉村選手は「試合ではプレッシャーもあったが、勝ててホッとした」と話しました。